

第 11 回 一般社団法人日本生物物理学会 講師派遣事業 開催報告

開催日	2018 年 10 月 5 日
学校名 (場所)	長野県屋代中学校
授業の名称	細胞をうごかす分子でできた機械
講師名	野地 博行 氏 (東京大学工学系研究科教授)
参加者	中学 2 年生 (80 名)
生徒さんの感想	<ul style="list-style-type: none">・ 分子チヨロ Q の仕組みで試験管に閉じ込めたモーターが ATP を合成するやり方がよく分かった。私達の体の細胞につまった分子マシンが、がんばって毎日こんなことをしているのかと驚いた。・ 分子を機械に例えたり、ダンスでシミュレーションをしたりして、難しい話なのにとっても分かりやすく面白かった。しかし、難しいところは本当に難しかった。・ 理解しきれない部分もあったけど、とても面白くてどんどん引き込まれていった。・ 細胞は小さいのにさらにそこにぎっしりと分子が詰まっていることに驚いた。タンパク質はいろいろな役割をされていてすごいと思った。・ とても難しかったが、先生の話し方が上手でこんな風になりたいと思った。・ 脳は何もしていないときでも沢山エネルギーを消費していると知って面白かった。・ 自分が今やっている「生物」というものは氷山の一角にも満たないのだと思った。これからは、苦手な「生物」もがんばりたい。